

体育科学習指導案

単元名「器械（跳び箱）運動」

令和5年10月 3年 指導者 山崎 直哉

I 単元の構想

1 単元観

第3学年では、技ができる楽しさや喜びを味わい、運動観察の方法や体力の高め方などを理解するとともに、自己に適した技で演技することができるようにする。また、基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて跳び越したり、学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで跳び越したりすることなどに取り組ませたい。個人種目なので、自分の演技と向き合い、成長を実感しやすい競技であることから本単元を設定した。

2 研究との関わり

昨年度、マット運動に取り組み、自己の体の動きに注目し、自分の描いている姿と実際の動きとの比較を感じながら取り組んできた。今年度は、自分の演技を撮影して可視化し、練習に取り組んでいくことで、自分の成長をより実感できるようにしたい。また、学習カードを活用して、技のポイントを言語化し、友達と共有したり、アドバイスしたりする活動を通して、自分の演技に落とし込めるようにしていきたい。

3 単元の目標及び生徒の実態

	目 標	生徒の実態
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none">基本の技が一連の動きで、滑らかに安定して、跳び越すことができる。基本の技を発展させて、大きな演技ができる。	<ul style="list-style-type: none">中学に入学して初めての跳び箱運動なので、不安を抱えている生徒が多い。昨年度、マット運動に取り組んできたので、その学習を生かして授業を展開する。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none">踏み切り、着手、着地のポイントを理解して、課題解決に向けて取り組むことができる。自分の課題を理解し、その解決に向けて、練習方法を考えることができる。	<ul style="list-style-type: none">学習カードへの記述が、具体性に欠ける生徒が半数ほどいる。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none">自己や仲間の課題に対して、繰り返し粘り強く取り組むことができる。互いに仲間の動きを観察して動きの様子や課題を伝え合ったり、補助し合ったりしようとしている。	<ul style="list-style-type: none">指示待ちで自分から目的に対して考えて動ける生徒が少ない。授業中の発言が少なく、考えの共有が少ない。

4 評価規準

知識・技能	<ol style="list-style-type: none">基本的な技を一連の動きで、滑らかに安定させて跳び越すことができる。学習した一連の動きを発展させて、一連の動きで跳び越すことができる。
思考・判断・表現	<ol style="list-style-type: none">技などの自己や仲間の課題を発見し、言語や文章で表現することができる。自己の課題に対して、合理的な解決に向けて、練習の方法や場の設定を工夫できる。
主体的に学習に取り組む態度	<ol style="list-style-type: none">自己や仲間の課題に対して、繰り返し粘り強く取り組むことができる。互いに仲間の動きを観察して動きの様子や課題を伝え合ったり、補助し合ったりしようとしている。

5 指導及び評価、ICT 活用の計画（全5時間：本時第3時）

過程	時間	<p>■ねらい</p> <p>□学習活動</p> <p>★ICT活用に関する事項</p>	知	思	態	<p>◆評価項目<方法（観点）></p> <p>○指導に生かす評価</p> <p>●評定に用いる評価</p>
つかむ	1	<p>■基本の技に取り組み、今自分のできる技や、技の出来映えを撮影し、練習の見通しをもてるようにする。</p> <p>□開脚跳び、台上前転に取り組み、技の出来映えを撮影し、取り組む技や段数、練習方法について見通しをもつ（★）。</p>			○	<p>◇今、自分のできる技や技の出来映えを理解し、今後の目標をもつことができる。</p> <p>〈観察・ワークシート（態①）〉</p>
<p>[単元の学習課題]</p> <p>基本的な技を一連の動きで、なめらかに安定させて跳び越すことができるよう、仲間と互いの演技を見合って、アドバイスしたり課題解決したりしよう。</p>						
追究する	2	<p>■同じ目標や技の出来映えの生徒とグループを作り、お互いの技を見合っ てアドバイスする。</p> <p>□同じ課題をもつ生徒同士で見合うこ とで、共通の課題解決方法を見付け る。</p>			○	<p>◆練習を通して、場の工夫をしたり、 仲間とアドバイスしたりして、合理 的な課題解決をしようとしている。</p> <p>〈観察（思②）〉</p>
	3 本時	<p>■技の出来映えや目標の違う生徒とグ ループを作り、お互いを見てアドバ イスし合い、技の完成度を高めたり、 新しい技に挑戦したりする。</p> <p>□前時と違った視点で見たり、見合う ことで、新しいアドバイスやヒント を得る。</p>			●	<p>◆自分の演技の課題を明確にし、アド バイスを基に改善しようとしてい る。</p> <p>〈オクリンク（思②）〉</p>
<p>[本時のめあて]</p> <p>・課題の違う仲間と技を見合って、新しいヒントを得たり、新しい技に挑戦したりしよう。</p>						
	4	<p>■第2時と同じ生徒とグループを作 り、お互いを見てアドバイスし合い、 技の完成度を高めたり、新しい技に 挑戦したりする。</p> <p>□元のグループに戻して活動に取り組 むことで、学習の成果を確認し、さら に新しい技に挑戦する。</p>	○			<p>◆技のポイントを理解し、力強く大き な演技ができる。</p> <p>〈オクリンク、観察（知①）〉</p>
まとめる	5	<p>■自分の学習の成果を確認する。</p> <p>□最後の演技撮影を行い、最初の演技 と比較し、自分の成長した部分を確認 する。</p>			○	<p>◇自己の成長を実感し、のびのびと演 技し、仲間の演技を見ることができ る。</p> <p>〈観察、映像（態②）〉</p>

II 第3時の学習

1 **ねらい** 自己の課題に対して、仲間と協力してアドバイスし合ったり練習を工夫したりする活動を通して、基本の技が一連の動きで滑らかに安定してできるようにする。

2 展開

<p>主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目(観点)</p>
<p>1 準備、準備運動を行い、本時の学習、めあてを確認する。 ○補助運動を行う。 ・補助運動が跳び箱運動のどの場面に繋がっているのかを意識して行う。(導入7分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>＜めあて＞ 課題の違う仲間と技を見合って、新しいヒントを得たり、新しい技に挑戦したりしよう。</p> </div> <p>S：上手な人のよいところをよく見て真似しよう。 S：苦手な友達にアドバイスしよう。</p>	<p>○本時の活動内容が把握できるように、自己の課題とその解決方法を確認させる。 ○自己の課題解決に必要な準備運動ができるように、必要なストレッチ等を考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◆評価項目 基本的な技の完成度を高めるために、自分の課題を理解し、合理的な解決のために、練習を工夫したり仲間とアドバイスし合ったりしている。＜観察、オクリンク(思考)＞</p> </div>
<p>2 課題の確認をしながら練習する(★)。(展開①15分) ○前時の映像を確認し、本時で改善する部分を明確にイメージして、練習パートナーに伝える。 S：前は膝、つま先がどうしても伸びなかったから友達に見てもらってアドバイスをもらおう。 S：さらに大きな演技にするために、踏み切りを意識して演技しよう。 S：着地で止まれないので、その原因を探ろう。</p>	<p>○映像と課題が結び付くように、苦手な生徒には声掛けをする。 ○自分の課題にあった場で練習できるように、段数を変えたり、踏み切りの位置を変えたりするよう促す。 ○難しい技にチャレンジしてつまづいている生徒には、一度難易度を落として、成功のイメージを取り戻してから再チャレンジするよう助言する。</p>
<p>3 練習を基に今日の成果を映像にとって確認する。(展開②8分) ★映像を見て、できるようになったことや、有効だったアドバイスはオクリンクのコメントに残す。 S：同じポイントについてでも、違う角度から撮影してもらって、新しい発見をしよう。 S：課題を一つ解決できたから、さらに美しい演技を目指して課題を設定しよう。</p>	<p>◎映像を見て振り返り、有効だったアドバイスや、できるようになったことを明確にして、オクリンクに記録するよう指示する。 ○台上前転の導入として、マットでの前転等の簡易な練習の場も取り入れるよう声掛けをする。</p>
<p>4 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。(終末5分) S：○○さんのアドバイスがとても有効で、コツをつかむことができた。 S：今日得たポイントを次回友達に教えてあげよう。</p>	<p>◎本時で得たコツやポイントを整理できるように、学習カードに記入させる。 ○できるようになったことを中心に、どんな意識や練習が効果的だったのかを振り返って学習カードに記入させる。</p>

3 板書計画

<くめあて> 課題の違う仲間と技を見合って、新しいヒントを得たり、新しい技に挑戦したりしよう。

本時の活動

- 1、準備運動
- 2、課題の確認、基本の技の練習
- 3、練習成果の撮影確認
- 4、まとめ、振り返り

※自分の成長したところを中心に理由も添えて書く。

活動グループ

A (7段)

B (6段)

C (6段)

D (5段)

E (5段)

体育館 配置図

